

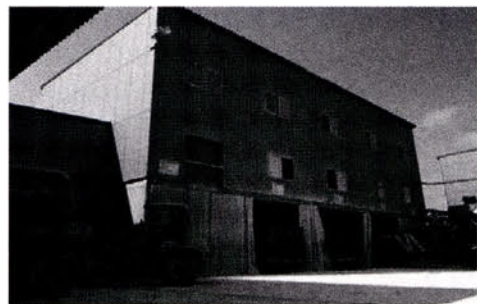
石膏ボード資源リサイクル協会が 設立 三菱マテリアル(株)九州工場と連携

九州地域で石膏ボードリサイクルの実績を積み(株)NRS(福岡県北九州市若松区響町1-79-1、中山卓社長、☎093-752-6100)と大東商事(株)(熊本市北区楠野町453-1、小原英二社長、☎096-245-4800)、(株)中央環境(長崎市西海町2739、前田正道社長、☎095-884-3229)の3社が中心となり、石膏ボードの再資源化を促進する「石膏ボード資源リサイクル協会」を設立、本格的に活動を開始した。

国内初のモデルケースを九州からスタート

石膏ボードリサイクルを手掛けるNRSと大東商事、中央環境の3社と、再生石膏粉を使用する三菱マテリアル(株)九州工場が連携。石膏ボードリサイクルシステムとして、国内初となるモデルケースを九州から構築する。

具体的には西日本エリアを3つのブロックに分けて、それぞれの地域から集荷した石



処理能力を大幅に伸ばすNRSの施設内

膏ボードを中間処理後、再生石膏粉については三菱マテリアル九州工場とセメント原料としてリサイクルする。日本最大のセメント生産量を誇る同社九州工場と連携することで、大きな受け皿を得ることとなり、西日本エリアでの石膏ボードリサイクルが進むことが期待される。

初年度は4万t、翌年には5万tの出荷を目指す

協会として初年度は4万t、翌2014年度は5万tの再生石膏粉を同社九州工場に出荷する計画だ。西日本エリアを3つの地域に分けることで、各拠点の利便性や合理性を図り、競争力の強化とリサイクルを基本とする広域処理の構築が可能となる。

会長には、(株)NRSの中山卓社長が就任。副会長に大東商事(株)で専務取締役の小原隆二氏、同じく副会長に(株)中央環境で常務取締役の上田恭久氏がそれぞれ就任した。今後、石膏ボードの発生量増加を見越し、さらに新規パートナー企業を募る方針だ。

現在、九州での石膏ボードの発生量は年間で約10万tに上る。その多くがリサイクルされることなく、管理型処分場で処分されている状況にある。そうした状況を受け、同協会の中山会長は「今回の協会設立で、実績を積み上げることができれば、九州地域だけでも特定建設資材のような扱いになればと期待している。今までは、再生石膏粉の受け皿を確保することが課題だった。しかし、

課題とされてきた受け皿を確保することができたことで大きな強みを得た。会員3社のネットワークをいかし、安全・安心・安定を前提とした再資源化を進めていきたい」と語った。

施設増強で既設の3倍、日量240tの処理能力に

(株)NRSは、昨年11月から北九州市内にある石膏ボード製造メーカー(吉野石膏)への解体系石膏粉の搬入を開始した。搬入は試験的であるものの、月間100t近くの解体系石膏粉を使用して製品原料として使用開始している。

営業展開として、福岡県南部や佐賀県、大分県内でのパートナー企業が決まっているほか、山口県や広島県、鳥取県といった中国地域にも営業拡大する。

同社では、石膏ボード資源リサイクル協会の設立に伴い、破碎施設の増強を予定している。従来施設の処理能力は1日8時間稼働で80t。新たな施設では、1時間当たりの処理能力を従来の10tから15tに。また、1日8時間稼働だったものが16時間に延長する予定だ。これにより、現在稼働している施設の3倍の能力で処理が可能となる。

処理能力増強のため、間もなく新施設完成

大東商事(株)は、石膏ボード資源リサイクル協会において、熊本県を中心に鹿児島ブロック・宮崎ブロックを担当。廃石膏ボードの集荷に力を入れる。廃石膏ボードの集荷の増強で熊本県内に1社、長崎県に1社、佐賀県に1社、関西方面に1社の業者と提携。輸送力を増強した。

現在、本社RCで新たな石膏ボードの中間処理施設強化のため、12年9月より新プラ



大東商事の石膏ボード検収棟

ント建設を進めており、間もなく完成予定としている。より幅広く石膏ボードの受入れが可能となることから、需要先の品質規格や出荷量などの要望に対応できるとしている。今まで受入れが難しかった品質の悪い廃石膏ボードの受入れもできるようになり、出荷量増に期待される。

稼働時間延長で、月800tまで増産体制敷く

(株)中央環境は、石膏ボード資源リサイクル協会の設立に伴い、長崎県と佐賀県の全域までを営業エリアとして拡大。協会メンバーとして安定した供給を目指す。今後は、稼働時間の延長で月800tの出荷体制にする考えだ。

同社では、廃石膏ボード分離ラインのほか、木質チップ製造プラントやガラスびんのリサイクルプラント、RPF製造施設を導入。バイオメタノール製造・販売、安定型処分場の事業展開してきた結果、県内で第1号となる「優良産廃業者」の認定基準に適合した。



中央環境の施設全景